

全国学力・学習状況調査について

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

■全体として、問題を正確に読み取る力が低く、その影響もあって正答率が全国平均を下回る結果となっている。

【内容】

□思考力、判断力、表現力に関する「話すこと・聞くこと」では、学習課題について考えるために、インタビューを行い、発言の目的や理由について最も適切なものを選ぶことについて、全国平均を下回っている。

□思考力、判断力、表現力に関する「書くこと」では、ちらしの中の指定された部分を「本を読んで分かったこと」「使ってみて分かったこと」「60字以上100字以内」の条件に合わせて詳しく書く問題で、全国平均を下回っている。

□思考力、判断力、表現力に関する「読むこと」では、文章とグラフの資料をもとに、話し合いの様子から適切な言葉を書き抜いたり、選んだりする問題で、全国平均を下回っている。

□知識及び技能に関する「言葉の特徴や使い方に関する事項」・「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均を下回っている。

★今後の課題として、ほとんどの問題で全国平均に比べて無回答率が高いこと。一見しても分からない問題でも、最後まで粘り強く取り組む経験を積み重ねること。ペアやグループで自分の考えを言葉にしてから文章化する取組など指導の工夫も大切にしていきます。

●話すこと、聞くことの領域において相手意識をもちインタビューする経験の不足。

●インタビュー経験の不足から相手の意図を理解したり、話題をより掘り下げようとしていたりすることを苦手としている。

●読んで感じたことや考えたことをまとめる経験はあるが、条件に合わせて書く経験の不足もあって、苦手としている。

●複数の資料をもとに条件に合うように話し合いの流れを構成することや、文章化することを苦手としている。

●日常で使われる漢字や熟語を読んだり、書いたりできるようにすること。

○目的を明確にしたインタビューの取組を学級、学年、他学年、外部の方とのやり取りも含めて広げていくこと。
○国語科に限らず、生活科や社会科の学習で課題解決のために、外部の方とのインタビュー機会を増やすこと。

○条件に合わせて書く経験を少しずつ増やしていく。その中で簡易な条件で書くこと、いくつかの条件を組み合わせで書くことなどの学習活動の充実。

○国語科に限らず、社会科や理科と言った他教科でも複数の資料を根拠として、話し合ったり、考えたことを文章化したりする学習活動の充実。

○漢字の読み書きとともに、熟語に関しても意味理解を伴って日常的に使うことができる学習活動の充実。

※国語では、課題を解決するために文章を読み、何を問われているのか？について理解を深める必要がある。また、自分の考えをまとめる際には文字数指定などの一定の条件を満たして記述する力を付けていく必要がある。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

小学校
算数

■全体として、問題を正確に読み取る力が低く、また条件に合った解答に至らないこともあって正答率が全国平均を下回る結果となっている。

【領域】

□「A. 数と計算」

・全国平均を下回っている。

□「B. 図形」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「C. 測定・変化と関係」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「D. データの活用」

・全国平均を下回っている。

☆本校の成果として、ほとんどの問題で全国平均に比べて無回答率が低いこと。一見しても分からない問題でも、最後まで粘り強く取り組む経験を積み重ねること。ペアやグループで自分の考えを言葉にしてから文章化する取組など指導の工夫も大切にしています。

●異分母分数のたし算。

● $3/4 + 2/3$ の異分母分数のたし算について共通する単位分数（ $1/12$ ）の表し方と計算方法を表すこと。

●資料をもとに、指定された量を求める式と答えを表すこと。

●角を作る2つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについて選ぶこと。

●新品のハンドソープを空にすることを調べるために必要な条件を選ぶこと。

●いくつかの棒グラフや整理した表を参考にして、必要な情報や数値を読み取り、条件に当てはまることを選択すること。

○異分母分数を計算する際の共通する単位分数（教科書では通分とまとめている）について通分＝共通な分母の分数という知識を定着させる学習活動の充実。

○問題場面を理解するとともに、数量関係を式に表す学習活動の充実。

○角の大きさは、角を構成する2つの辺の長さに関連がなく等しいことを理解するための作図活動の充実。

○問題で問われている意味を理解し、その条件を満たすよう立式して解を導く活動の充実。

○学習課題や問題を解決する際に、グラフや表などの複数の資料から必要な数値を読み取り、課題に合わせて活用する学習活動の充実。

（他教科でも活用する能力）

※国語に限らず、算数においても、課題を解決するために文章を読み、内容を理解する力を付けていく必要がある。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

■全体として、問題を正確に読み取る力が低く、また条件に合った解答に至らないこともあって正答率が全国平均を下回る結果となっている。

【領域】

□A区分

「エネルギー」を柱とする
・全国平均を下回っている。

□A区分

「粒子」を柱とする
・全国平均を下回っている。

□B区分

「生命」を柱とする
・全国平均を下回っている。

□B区分

「地球」を柱とする
・全国平均を下回っている。

★今後の課題として、ほとんどの問題で全国平均に比べて無回答率が高いこと。特に記述問題において顕著です。実験の結果や記録を基に自分の考えをまとめる際に、一定の条件を設定するなど指導の工夫も大切にしていきます。

●電磁石の磁力を強めるための条件を理解すること。

●電流の強さを強くするためのつなぎ方を理解すること。

●海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を予想すること。

●図からおしべとめしべを選ぶこと、受粉について書くこと。

●発芽の条件に付いて調べたことを生かして、新たな問題に気付くこと。

●同じ土でも大きい粒と小さい粒では水のしみこみ方に違いがあることを、しみこむ時間をまとめた実験結果から想定して、理由をまとめること。

○実験を繰り返すことで、条件を整えれば、毎回同じ結果になることを通して知識や技能の定着を図る学習活動の充実。

○水の温度による体積変化について理科の実験に留まらず、世の中の自然現象に当てはめて考えるなど発展的な学習活動の充実。

○花粉がめしべの先につく＝「受粉」のように理科で学ぶ知識の定着を図る学習活動の充実。

○いくつかの資料や根拠を基に条件を整理してまとめたり、新たな問題に気付いたりするような学習活動の充実。

○実験結果や記録を基に自分の考えを記述する経験と、条件を満たしてまとめる学習活動の充実。

※理科においては、以前の学習内容と関連付けた知識や思考力・表現力が問われる。既に学んだ内容を新たな課題と適切に関連付けながら、理解する力を付けていく必要がある。

肯定的な回答が多いもの	概要	これまでの取組
☐ 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」 ☐ 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」 ☐ 「算数の勉強は好きですか」 ☐ 「理科の勉強は好きですか」	☐ 「当てはまる」と答えた人が全国平均を上回っている ☐ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた人が全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている ☐ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた人が全国平均を上回っている ☐ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた人が全国平均を上回っている	☐ 友達との関わり、異学年との関わり、学校行事等の取組の工夫 ☐ 日々の授業や係などの特別活動、学習発表会などの学校行事を創り上げる取組の工夫 ☐ これまでのTT指導や習熟度別学習などの取組の工夫 ☐ 目の前の事象についてじっくり向き合う実験や観察等の取組の工夫
肯定的な回答が少ないもの	概要	改善の方向
☒ 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」 ☒ 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」 ☒ 「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」	☒ 「あまりしていない」「全くしていない」と答えた人が全国平均を上回っている ☒ 「あまりない」「全くない」と答えた人が全国平均を上回っている ☒ 「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と答えた人が全国平均を上回っている	☐ 健康な生活を維持するために睡眠の重要性への理解を深める学習機会の充実【ほけんだより・体育科(保健)・家庭科等】 ☐ 感謝の思いを表現したり自己有用感を醸成したりする機会の充実【ふれあい活動・特別活動等】 ☐ 学級の生活をよりよくするための充実した当番活動や係活動、学級会活動の充実【特別活動等】

下記は過去4回(H25・H28・R3・R6)の全国学力・学習状況調査や児童質問紙への回答傾向を経年変化で調査した資料にリンクします。また、保護者に対して【学校外での過ごし方】について質問した内容もありますので、ぜひ一読いただきお子さんの健やかな成長や学習環境整備について理解を深めていただければ幸いです。

[経年変化分析調査・保護者に対する調査結果資料：国立教育政策研究所 National Institute for Educational Policy Research](#)

出典：国立教育政策研究所([国立教育政策研究所 National Institute for Educational Policy Research](#))